

## ビワマス資源の年齢・体長組成 (2024年)

大前信輔

### 1. 目的

琵琶湖におけるビワマスの資源構造モニタリングを目的として、2024年の捕獲魚と回帰親魚の年齢と体長の組成を調査した。

### 2. 方法

ビワマスの主要漁期(6~9月)に、刺網および遊漁を含む引縄釣りの捕獲魚の被鱗体長(以下、体長)を測定した。漁法別捕獲量は琵琶湖海区漁業調整委員会事務局の調査によった。漁法別捕獲尾数による重みづけを行ったうえで、これらのデータから、捕獲魚の体長組成を推定した。年齢は既存の年齢-体長相関表から推定した。

産卵期(10~11月)に、増殖事業での採卵を目的として投網、エリおよびヤナで採捕された回帰親魚の一部の体長を測定した。年齢は捕獲魚と同様に推定し、回帰親魚の年齢・体長組成を推定した。

上記により推定した捕獲魚と回帰親魚の年齢と体長の組成を全長30cm以下の採捕が禁止となった2017年以降と比較した。

### 3. 結果

2024年の捕獲魚では、平均年齢が2.3歳(表1)で、2歳魚の割合が最も多い傾向は2023年以前と同じであった。1歳魚の割合は2017年以降では最多であった(図1)。平均体長は38.3cm(表1)で、昨年より小型化したものの、2023年以前と比べて特筆すべき小ささではなかった(図2)。

2024年の回帰親魚では、平均年齢が2.9歳で、3歳魚の割合が最も多かった(表2)。3歳以上の占める割合が多い傾向は2021年以降継続した(図3)。平均体長は44.5cm(表2)であり、2022年について大型であった(図2)。

以上のように、資源構造に資源の減少を示す若齢化・小型化の傾向はなかった。

表1 2024年捕獲魚の年齢・体長組成

年齢	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	全平均
年齢組成(%)	16.6	47.4	27.4	7.4	1.1	2.3歳
体長(cm)	29.6	36.5	43.4	48.7	54.1	38.3cm

表2 2024年回帰親魚の年齢・体長組成

年齢	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	全平均
年齢組成(%)	2.0	28.5	49.4	17.5	2.6	2.9歳
体長(cm)	31.6	39.9	45.6	49.4	51.6	44.5cm

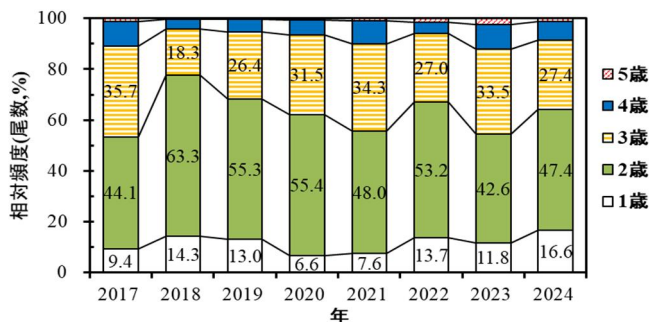


図1 捕獲魚の年齢組成

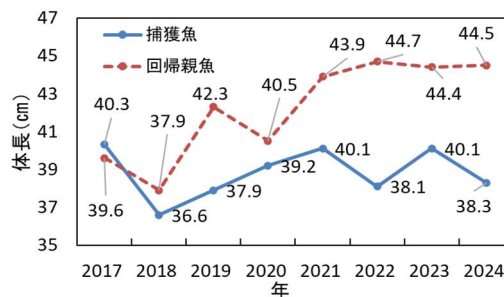


図2 捕獲魚と回帰親魚の平均体長の推移

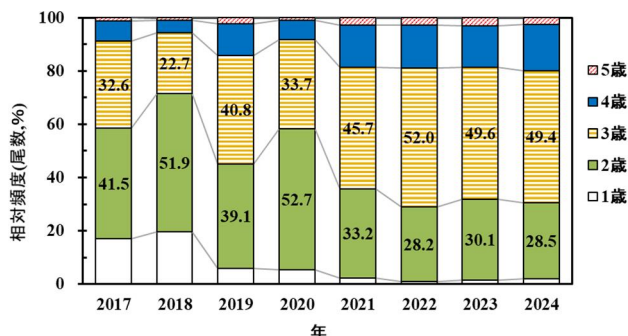


図3 回帰親魚の年齢組成

本研究は水産庁からの委託事業「水産資源調査・評価推進委託事業」の一部として実施した。